学校だより

おつひ

半田市立乙川東小学校
第５号
令和５年７月２０日
発行責任者：福島　冨美

校訓　たくましく　心ゆたかに　大きくのびよう

自分で考えて行動する

１学期が終わり明日から夏休みが始まります。学校では、今年度の努力目標でもある「自分で考えて行動する」ことを重視して、１学期間、教育活動を行ってきました。

特に、授業時間の中に、自己決定による学習を取り入れてきました。６月の学校公開日には、５年生と６年生で算数、４年生は理科で自由進度学習を参観していただきました。他にも、社会の調べ学習後のまとめをそれぞれが得意を生かした方法で行ったり、家庭科の小物入れづくりで、タブレットの手順書を見ながら自分のペースで進めたりもしています。個々の学びとなるため、子ども同士の学び合いの機会がなくなるのでは、と心配する声もありましたが、実際に行ってみると、子どもたちは教員よりずっと互いのことをわかり合っていて、得意なことを教えたり、反対に苦手なことは聞いたりして学びを進めていきます。子どもたちにもこの学習方法は概ね好評のようです。

４年生　理科

６年生　算数

さて、明日から始まる夏休みも、自分で考えた学びが続けられると良いと思います。楽しい旅の思い出をPR動画にしたり、時間を気にせず関心のあることを徹底的に調べたり、自由応募作品に挑戦して賞品をゲットしたり……。そして、お家の方には、子どもたちが自分で考えて行動したことを関心をもって見たり聞いたりしていただきたいと思います。

また、この１学期間、「自分で考えて行動する」ことをしてきたのは子どもたちだけではありません。今年度から見直しを図ったPTAにおいて、保護者の皆様には子どもたちのためにたくさん行動していただきました。ボランティアを募った交通教室の手伝い、校外学習の付き添い、プールの監視手伝い。毎日のように学校へ顔を出していただける保護者ボランティアの自分で考えて行動する姿は、子どもたちの心に刻まれました。

子どもたちが、２学期に、自分で考えて行動した夏休みの思い出をたくさん話してくれることを楽しみにしています。

『できる時にできる人が子どもたちのために活動するPTA』

7月10日(月)に、PTA役員と児童会役員の座談会が開かれました。これはPTA役員の「子どもたちはどんなことをしたいと思っているか話してみたい。」という一言から実現しました。「子どもたちのため」というかぎり、子どもたちの気持ちを大切にしたいという気持ちがうれしいです。

みんなのために、委員会が活躍します

本校では、5年生と6年生が委員会活動を行っています。委員長を中心に、学校のために何が必要か考え、話し合い、活動をしています。委員会ごとにスローガンも考え、月1回開かれるおつひタイムでは、全校児童に活動報告を行っています。

児童会テーマ

体育委員会:おつトレ

緑化委員会:苗の移植

総務委員会:ユニセフ募金

おつひタイム:委員会報告

図書委員会:図書館まつり

他にも、美化委員会のトイレスリッパそろえキャンペーン、保健委員会の学校保健委員会での発表、放送委員会のバラエティーに富んだ給食中の放送、生活委員会の「ルールでビンゴ大会」、給食委員会の食の掲示……。どの企画も、議案書を作って、代表委員会で委員長が提案します。楽しく心地よい学校生活になるようにがんばっています!

代表委員会:委員長出席